

言葉に込められた意味



先週の月曜日、生徒会専門委員の皆さんの認証式を行い、その後専門委員会、生徒議会が行われました。それぞれの委員会では、スローガンについての話しあいが行われました。生徒会役員のみなさんは、4、5月の生徒会スローガンを、「真っ白な解答用紙に刻むのは 新しい仲間とともに 全力で挑んだ Answer だ」と決めてくれました。とても熱い気持ちのこもったフレーズだと思います。5月には中間テストがあるので、解答用紙や Answer という言葉を使っているのだとは思いますが、さまざまなことに、仲間とともに協力してチャレンジすることができる一人ひとりであってほしいと思います。

さて、今週は29日(水)が「昭和の日」です。いよいよゴールデンウィークが始まります。この「ゴールデンウィーク」という言葉、ふだん何気なく使っている言葉ですが、実はテレビのニュースなどではあまり使われない言葉なのです。

「ゴールデンウィーク」という言葉は、ある映画会社が1950年代に、「この時期はお客さんがたくさん来て、黄金のようにたくさん利益が出る」という意味で作った言葉なのです。

特定の業界や企業を連想する言葉なので、公共放送であるテレビのニュースなどではよく、中立的でわかりやすい「大型連休」という言い方をします。

さらに今年も、9月にも5連休があります。こちらは「シルバーウィーク」と呼ばれることがあります。

「ゴールデンウィーク」も「シルバーウィーク」も、自然にできた言葉ではなく、人が何らかの意味を込めて名付け、広めたものです。このほかにも、私たちがふだん使っている言葉には、さまざまな理由や背景があることが多いのかもしれませんが。日常の中で使う言葉を少しだけ意識してみてください。調べてみると、新しい発見ができる言葉があるかもしれません。

さて大型連休ですが、まとまった時間があるからこそ、少し工夫すれば、とても充実した時間になります。名前だけではなく、中身もゴールデンにしてほしいと思います。そして今週は連休前、4月最後の一週間となります。金曜日には授業参観を行います。すてきな姿を見せてください。